

令和5年度 第2回義務教育学校検討委員会

日時 令和5年7月19日 15:30～

司会 定山溪中学校教頭 佐々木絵里子

- 1 開会の挨拶 定山溪中学校 校長 関根 昌彦
- 2 協議事項
 - (1) [義] 校名について《別紙1》
 - (2) [義] グランドデザインにおける小中一貫した目標について《別紙2》
 - (3) [義] 校歌・校章について《別紙3》
 - (4) [義] 校訓について《別紙2》
 - (5) [義] 標準服について（進捗状況の報告）
 - (6) [義] 教育課程編成部会、PTA 部会の打合せ後の報告について（情報提供）
 - (7) [CS] 小中学校から ※今後の児童生徒数、R7 運動会実施日、スキー輸送
 - (8) [CS] 地域から
- 3 連絡、その他
- 4 閉会の挨拶 定山溪小学校 校長 石川 直道

<参加者名簿>

所 属	役 職	氏 名	出欠
地域・評議員 関係	定山溪連合町内会会長	陰元 潤一	○
	定山溪地区社会福協議会会長	石川 康夫	○
	体育・青少年育成部長	江刺家 博	
	学校評議員（小中兼務）	井口 榮子	
	まちづくりセンター所長	長岡 佑介	○
	定山溪観光協会会長	古川 雅朗	
	定山溪中 同窓会 会長	奥田 康博	
PTA 関係	定山溪小 PTA 会長	小松原 綾子	○
	定山溪中 PTA 会長	山内 幸江	○
保育園	定山溪保育園 園長	水岡 正則	
児童会館	定山溪小ミニ児童会館館長	川越 可奈子	○
学校関係	定山溪小 校長	石川 直道	○
	定山溪小 教頭	青木 純	○
	定山溪中 校長	関根 昌彦	○
	定山溪中 教頭	佐々木絵里子	○
市教育委員会	教課推進課	中川 亜由美	○
	教育課程担当課	佐藤 雅哉	○
	家庭や地域とのつながりコーディネーター	綱渕 友也	

義務教育学校の校名について

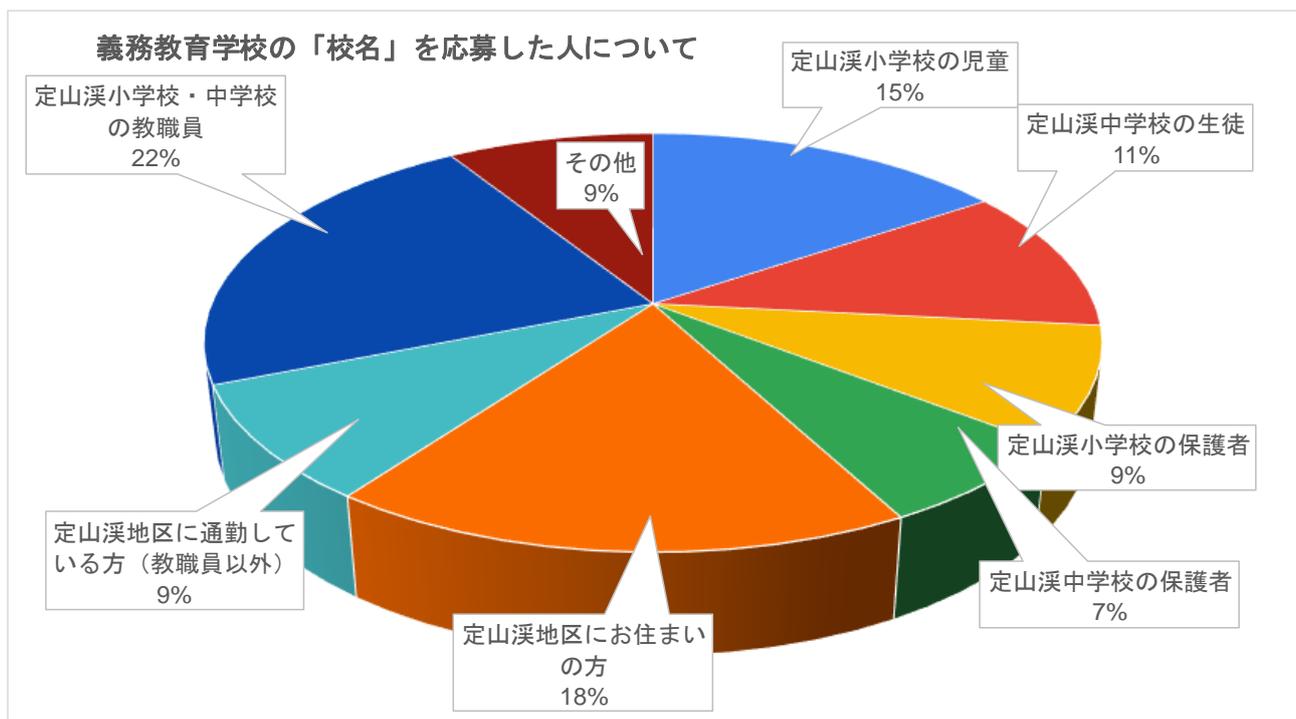
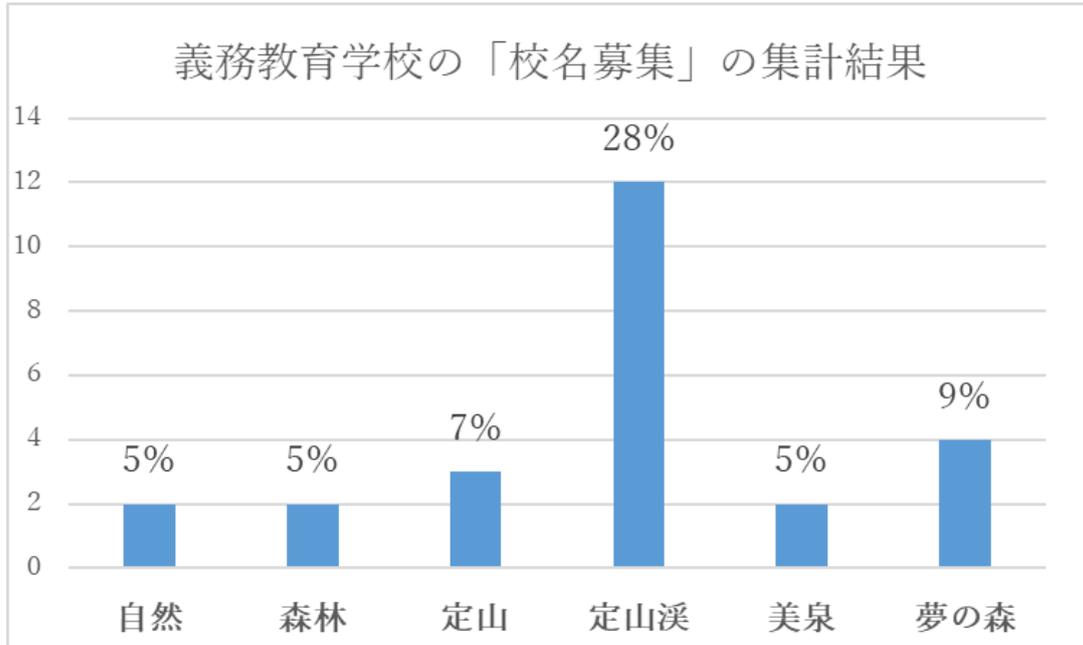
令和5年7月19日（水）

定山溪中（佐々木）

1 募集結果

合計 43 件の応募がありました。票数が多かったものは以下のとおりです。

1票しか入っていないものは、18ありましたが、グラフでは省略しています。



2 その校名にした理由

【定山溪】

- ・定山溪小学校と定山溪中学校の統合であり、地域になじんだ（親しまれている）名称がよいと考えたから。
- ・定山溪にできる学校だから。
- ・シンプルで一目でわかりやすい（覚えやすい）から。
- ・定山溪にある学校だから。
- ・下手な修飾語を付けずとも魅力が伝わる。
- ・これまでの名を残すことは大切で、これまでの、そして、これからの定山溪を大切に、誇りをもって学校生活を送ってほしい。他の地域からもわかりやすい。
- ・地域の名前を冠する学校なので特に変更の必要性を感じられない。
- ・定山溪を開いた定山坊に敬意を表し、歴史を大切に残していきたいから。
- ・小中学校がなくなると義務教育学校が卒業生たちの母校ともなるので「定山溪」を残した方がいいと思ったので。
- ・私は4人兄弟ですが、全員小学校・中学校共に定山溪小学校・定山溪中学校の卒業生です。長い間親しんだ名前を続けたいです。
- ・定山溪にある学校なので「定山溪」という名前を残したい。定山溪に1校しかない学校なので。

【定山】

- ・定山溪を開いた定山坊に敬意を表し、歴史を大切に残していきたいから。
- ・定山溪の開拓者、美泉定山から。
- ・定山溪温泉から考えました。
- ・この定山溪を作った人だから。天で今でも見守っているかもしれないから。
- ・幾多の困難を乗り越え、温泉の礎を築いた定山の功績から名付けられた「定山溪」に建てられる学校だから。

【夢の森】

- ・ここは夢があふれているところだから。
- ・みんなでこの定山溪の森の中で夢をもちたいから。
- ・一番いいと思ったから。

【森林】

- ・周りに木や山がたくさんあるから。
- ・自然を大切にしたいから。

【美泉】

- ・定山溪温泉の開祖である美泉定山さん。定山溪は彼の名前に由来しているので良

いかなと思いました。山形県に「みいずみ小学校」という名前があるので、「びせん」と読むのはいかがでしょうか？

- ・定山溪の開拓者美泉定山から。心美しく、泉のようにたくさんのことが湧き出てくるような子どもたちに育ててほしいという願いを込めて。美泉定山のように信頼される人格者になるよう願いを込めて。
- ・定山溪開湯の祖である美泉定山にちなんで考えました。自然と温泉と人そして思いやり（癒し）のある子どもが学ぶ場所。

3 番外編（その校名にした理由）

【夢の森 定山溪】

- ・教育課程を代表する森林教室と地域の地名を入れたいから。

【定山溪の杜】

- ・定山溪のフレーズは残したい。また、豊かな自然を連想させる杜を合わせた。

【定山溪温泉】

- ・土地の名前で温泉という字がかわいいから。

【定山溪やまびこ】

- ・溪谷と山々に子どもたちの元気な声が木霊するイメージ。

【舞鶴の瀬】

- ・錦橋にある深い淵。紅葉のスポットで有名。一の沢ダムができ、いつの頃からか舞鶴の瀬と呼ばれるスポットに。舞鶴学園でも良い。

【光陽】

- ・太陽のように明るく、暖かく太陽の光が当たる方向（陽はひなた）

【自然】

- ・定山溪といえば自然に囲まれており、イメージに合うと思った。

【定山溪いずみの】

- ・定山溪小学校の校歌の歌詞にあり、とても素敵で定山溪らしいから。

【山彦】

- ・山彦のように反射して返ってくるような人間、習得したことを周囲に良い影響を与える人間に育つようにという思いを込めて。

【無比寧（ムイネ）】

- ・無比寧は無意根山の旧名称。子どもたちはそれぞれオンリーワンであり、他と比べることなく、寧（安らかに落ち着いて）日々の学園生活を送るよう願う。

■ グランドデザインにおける小中一貫した教育目標について

札幌市の教育学校教育の重点では…

「人間尊重の教育」を札幌市学校教育の重点の基盤とし、さっぽろっ子「学び」のスキームの活用、「小中一貫した教育」の推進、ICT を活用した教育の推進を包括的重点に据え、家庭や地域とともにある学校づくり、知・徳・体の調和のとれた育ち、札幌らしい特色ある学校教育、子どもの発達への支援、信頼される学校の創造、教科等の枠組みを越えた教育を大切にしている。

特に「知・徳・体の調和のとれた育ち」については、以下の取組を全ての市立学校に求めている。※は全ての学校の HP に掲載されている。

「知」…学ぶ力の育成 → ※ 学ぶ力育成プログラム

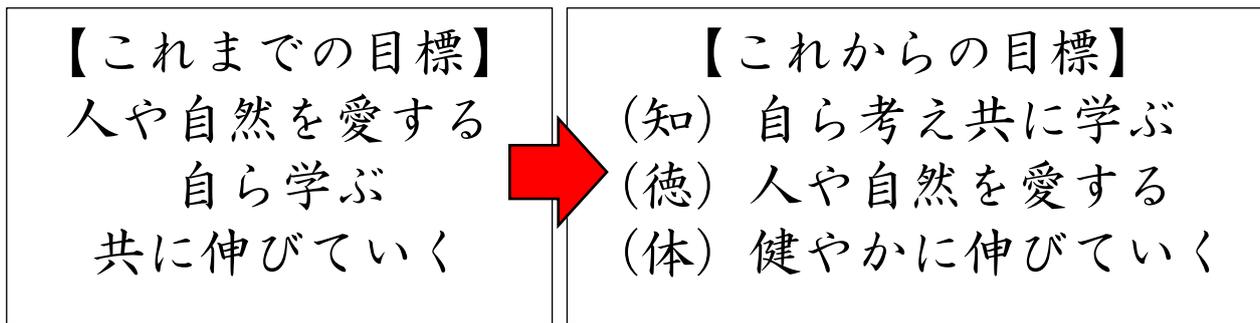
「徳」…豊かな心の育成 → 人間尊重の教育の推進
※ いじめ防止基本方針

「体」…健やかな体の育成 → ※健やかな体育成プログラム

定山溪小中学校においてもほとんどの教育活動が知・徳・体に分類することが可能である。

	年間推進項目	4月～7月	8月～12月	1月～3月
学びと発信	①課題探究的学習 ②朝読書 ③ICTの活用 ④家庭学習の習慣化 ⑤学習規律 ⑥基礎学力の定着 ⑦総合的な学習発表会	①③各教科、各行事 ②習慣化 ④⑤各学級、教科指導 ⑥朝学習、放課後学習 ⑦1学期活動発表会(旅行的行事発表会)	①③各教科、各行事 ②図書室との連携 ④⑤各学級、教科指導 ⑥朝学習、放課後学習 ⑦定山溪からの発信、2学期活動発表会(森林教室発表会)	①③各教科、各行事 ②ビブリオバトル ④⑤各学級、教科指導 ⑥朝学習、放課後学習
愛する心	①豊かな体験活動 ②道徳教育の充実 ③キャリア教育 ④地域を知る活動 ⑤他者との関り	①教材園活動・森林教室 ③職場訪問、体験、国際理解、福祉、仕事調べ ④地域探検、校外学習、宿泊学習、修学旅行 ⑤あいさつの励行、仲間や地域とのきょうどう	①教材園活動・森林教室・自然探検・地域行事参加 ②郷土を学ぶ ③定山溪からの発信 ④定山溪の魅力発信 ⑤あいさつの励行、仲間や地域とのきょうどう	①地域行事参加 ③未来を考える(進路) ④有馬小と交流 ⑤あいさつの励行、仲間や地域とのきょうどう
強い体と心	①体育的行事 ②保健、食指導 ③安全指導 ④部活動	①合同運動会、遠足、陸上記録会、スポーツテスト ②歯科検診、スマホ安全教室、非行防止教室 ③避難訓練、救急救命講習 ④中体連	①プール開放、なわとびチャレンジ、球技大会 ②和歯 8020 運動、給食週間、こころの授業 ③避難訓練、救急救命講習 ④中体連新人戦	①雪中運動会、スキー学習 ②性に関する指導
地域とのつながり	①合同運動会 ②連町ふれあい事業 ③地域行事 ④ミニ児童会館事業 ⑤幼・保連携事業	①連町合同運動会 ③ヤマメ放流体験	②ルスツ体験、動物園見学、ふれあい遠足 ③神社祭神輿、地区音楽会	①連町合同雪中運動会 ③定山溪雪灯路 ④スノーシュー体験 ⑤新1年生1日入学

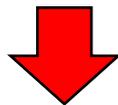
については、**小中一貫した教育目標**を知・徳・体で新たに整理した。



また、**目指す子ども像**も知・徳・体で整理した。

【これまでの目指す子ども像】

- ① 自分で考え、判断し、粘り強く物事に取り組む子ども 思考力・判断力
- ② 全ての人に思いやりをもって接することができる子ども 思いやり
- ③ 自然環境や日常の事象に目を向け、体験的に追究していく子ども 課題探究力
- ④ 学習の仕方を身に付け、意欲的に学ぶ子ども 学習意欲
- ⑤ コミュニケーション能力を身に付け、他と協働しながら成長する子ども コミュニケーション能力
- ⑥ 心身の健康を意識し、自分で体調管理しようとする子ども 自己管理能力



【これからの目指す子ども像】

- (知) 自分で考え、判断し、他と協働しながら粘り強く物事に取り組む子ども
- (徳) 全ての人に思いやりをもって接し、ふるさとや自然を大切にする子ども
- (体) 心身の健康を意識し、体育や食育を通して自己管理できる子ども

■校訓について

- カナを取り入れて、現在風にする。
 - 設定時はよいが、100年後はどうなるか疑問。
- 漢字2文字で複数設定する。
 - 「剛健」「友愛」「信義」など複数あると、思い出しづらい。
- 願いが入った文にする。
 - どんな願いが込められているが、覚えづらい。
- 「不惜身命」「不撓不屈」などの4文字熟語にする。
 - 覚えやすい。忘れない。貴乃花、若乃花が使用した、難しい言葉ではあるが、印象深いものなる。

については、地域の願いが入った四文字熟語で表現するのはどうか。

- 「思いやり」の心が溢れ、「優しさ」で結ばれる子どもが育つ学校
 - 友愛（兄弟・友人の間の親しみ。他に対して深い思いやりをもつさま。）
 - 心友（心の通い合った友）

- 地域が支え、いつまでも家族のようにつながり続ける「絆」が育つ学校
 - 共生（ふるさとで共に生きていくさま）
 - 同心（心は同一であるさま）